

平成22年1月吉日

NPO法人マナーキッズ®プロジェクト理事長 田中日出男
株式会社サイモンズ 代表取締役社長 齊川 満

「マナーキッズ®&マナーコミュニティ®・ポイントカード」発行の件

子ども・若者の状況がおかしい。多くの人がそう感じるようになって、ずいぶん時間がたちます。挨拶や礼儀など人間としての基本的なマナーやルールに欠ける。私的空間と公的空間のけじめ感覚を持ち合わせない。傷つくのが怖いから他人と深く交わろうとしない。学びを含めて何事にも意欲がわかない。その上、体力や運動能力の面でもひ弱になった。そんな子どもが増えつつあることを様々なデータは示しております。

NPO法人マナーキッズプロジェクトは、このような子ども・若者状況の是正に向けて、その一助になることを目標にしており、スポーツ及び文化活動に親しみながら、日本の伝統的な礼法を体験し、＜体・徳・知＞バランスのよい子どもを育てます。

プログラムは、子どもの体力・運動能力の低下に歯止めをかける＜体育＞、挨拶・礼儀作法の基本的マナーとスポーツマンシップを習得させる＜徳育＞、運動で知性を育む＜知育＞を考慮して組まれており、既に実施した全国各地の幼稚園・小学校から高い評価を得ています。

一方、株式会社サイモンズは、多くの消費者がポイントカードやマイレージカードを持つ時代になった状況下、会社設立当初からポイントの隆盛と問題の発生を予測し、「共通ポイントシステムを活用した共生ネットワークの創造」を目指して取り組んでおります。顧客、加盟企業・商店街さらに地域社会がともに共生できるWIN=WIN=WINの持続可能なネットワークの構築を図り、失効ポイントを社会貢献団体等に寄付するというビジネスモデルは画期的なもので、最近では地方自治体等においてもサイモンズポイントカードを発行するに至っております。

今般、NPO法人マナーキッズプロジェクトは、株式会社サイモンズと連携して、マナーキッズ&マナーコミュニティ・ポイントカードを発行します。

マナーキッズ&マナーコミュニティ・ポイントカード発行の目的・内容は下記の通りです。

記

- 1 企画名称：「マナーキッズ&マナーコミュニティ・ポイントカード」発行
- 2 目的・内容：

今までに、約4万人の幼稚園園児、小学校児童がマナーキッズプロジェクトの教室を受講しましたが、受講前は、姿勢が悪く、小さな声で挨拶していたのが、受講後は、姿勢が良くなり、大きな声で挨拶が出来るようになることから、子ども

は「教えれば変わる」と確信しております。

しかし、それが持続し、身に付くためには、家庭、学校、地域社会のフォローが不可欠です。

NPO法人マナーキッズプロジェクトは、家庭におけるフォローの一方法として、マナーキッズカレンダーを作成し、守りたいマナーについて、親子で対話しながら毎日チェック出来るようにしております。

学校においては、マナーキッズ教室で習った日本の伝統的な礼法を、朝礼、授業の開始時、終了時に励行すべく、「フォロー要領」を作成しております。

地域社会におけるフォローの一方法として、「マナーコミュニティ」の商標登録取得を契機に、街ぐるみ挨拶運動他の支援活動を行っております。

今般、マナーキッズ&マナーコミュニティ・ポイントカードを発行し、全国のマナーキッズ教室受講者の保護者他に配布します。マナーキッズ教室受講者の保護者他が、地元商店街等においてマナーキッズ&マナーコミュニティ・ポイントカードを利用することにより、マナーキッズ及びマナーコミュニティに対する関心を高めます。

そして、商店街、町内会、自治会等地域社会の方々が当該地域での挨拶運動他に参画することにより、マナーキッズ教室のフォローの一翼を担って頂きます。

商店街等がマナーキッズ&マナーコミュニティ・ポイントカードを活用されることにより、マナーキッズ及びマナーコミュニティの輪が拡がり、かつ定着することを期待しております。

3 実施期間：2010年1月スタート

4 お問い合わせ：NPO法人マナーキッズ®プロジェクト 理事長：田中日出男

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北 3-22-3 デルコホームズ 5階

電話 03-3339-6535 F A X 03-6426-1580

Email:office365@mannerkids.or.jp URL <http://www.mannerkids.or.jp/>

株式会社サイモンズ 代表取締役社長：齊川 満

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-3-10 日本橋銀三ビル 5階

電話 03-5255-3741 F A X 03-3231-2032

Email:saikawa@symons.co.jp URL <http://www.symons.co.jp/>

Q & A

Q 1 NPO法人マナーキッズプロジェクトについて

A 1 財団法人日本テニス協会では、2005年4月から、子どもテニスのプロモーション活動として「マナーキッズテニスプロジェクト」を全国の幼稚園・小学校において展開している。

この「マナーキッズ[®]テニスプロジェクト」は、子供達にテニスというスポーツにまず親しんでもらい、その中から世界的な選手の誕生も期待するとともに、専門家による挨拶、礼儀作法の基本的マナーの習得、スポーツマンシップの体得、文武両道で世界に通用する背骨ある人材育成も視野に入れている。また、年々進む子供の体力・運動能力の低下に歯止めをかけるとともに、運動で知性を育むことをも念頭に置いた「体育」「德育」「知育」三位一体の特色ある「キッズテニス教室」である。

各地の小学校などの反応は極めてよく、「挨拶する子が増えた」「子どもをプラス方向に変える力を持っている」「いじめを減らす効果が期待できそう」といった趣旨の報告が数多く寄せられている。以上のことから、テニスに限らずスポーツの種目を超え、そしてスポーツ以外の子ども活動団体などとも連携・協力しながら広く活動を展開していきたいとして、平成19年6月にNPO法人マナーキッズプロジェクトを設立した。

財団法人日本テニス協会マナーキッズテニス教室は、今までに43都道府県において、407回、30,059人の幼稚園園児・小学生児童が参加した。NPO法人マナーキッズプロジェクト発足後は、体育と道徳（食事のマナー他）の融合授業の開催を支援しており、20都道府県、84小学校で体育・道徳関連授業に採用されている。また、野球、サッカー、ミニバスケット、ラグビー、陸上、スナッグゴルフ、柔道、剣道、相撲、空手、音楽、中学校・行政礼法指導等領域が広がっており、既に10,779人が参加した。

Q 2 マナーコミュニティ運動について

A 2 NPO法人マナーキッズ[®]プロジェクトは、平成20年12月17日付で「マナーコミュニティ[®]」の商標登録を取得した。

今までに多数の幼稚園園児・小学生児童がマナーキッズ教室を体験した。そこで分ったことは、子どもは、「教えれば変わる」ということである。しかし、それが持続し、定着出来るかどうかは、学校、家庭、地域社会の対応如何である。

そこで、子どもの健全育成に関し、市町村ぐるみ（人口が多い市、区においては、中学校の学区から始める）で挨拶運動、併せてマナーの向上を図る運動他を支援する。例えば、次のように「マナーコミュニティ[®]〇〇」をキーワードに町あげて取り組む市町村、団体を募集している。

イ キャッチフレーズ（公募）例示

- ・挨拶が飛び交う健康タウン「〇〇」

ロ 実施単位

市町村単位

人口が多い市、区においては、中学校の学区から始めます。

ハ 実施事項及び効果測定項目例示

別紙参照

ニ 協力団体例示

自治会長会、民生児童委員協議会、社会福祉協議会、老人会、交通安全協会、消防団、保護司会、更生保護会、公民館、PTA、子ども会、スポーツ少年団、児童館、学童保育、学校評議員会、商店会、ロータリークラブ、ライオンズクラブ、青年会議所、企業、企業OB、駐在所、大学・高校・中学OB会他

Q 4 マナーキッズ&マナーコミュニティ・ポイントカードの作成枚数について

A 4 10,000 枚作成している。

Q 5 サイモンズポイントカードシステムについて

A 5 様々な企業や商店街等でポイントが発行されるようになり、多くの消費者がポイントカードやマイレージカードを持つ時代になった。更に、最近では鉄道系やコンビニ系の企業を中心に電子マネーも相当な量が発行されており、生活の中でポイントや電子マネーは欠かせないものになっている。

その一方で、ポイント発行業者にとっては、「ポイント引当金の増大」というデメリットを生じさせている。国際会計基準に従う国々では、消費者保護の観点から、ポイント発行業者は「ポイント発行時に全額負債計上処理」を行うようになっており、今後日本でも相応の対応が求められる。

株式会社サイモンズは、このようなポイントの隆盛と問題の発生を予測し、会社設立時から「共通ポイントシステムを活用した共生ネットワークの創造」を目指して取り組んでいる。例えば、各発行業者が行っているポイントサービスをサイモンズが一括的に処理することにより、個々の発行業者が抱える引当金問題を解決している。また、顧客、加盟企業・商店街さらに地域社会がともに共生できるWIN=WINの持続可能なネットワークの構築を図っている。

サイモンズポイントは、参加加盟店で貯めて、支払いとして利用できる共通ポイントで、1ポイント(=1円)から利用できる画期的なものである。さらに、12,000品目に及ぶ商品との交換も可能なうえ、JALやANAの航空券購入の支払いにも利用できる。1枚のポイントカードでいろいろな使い方ができる、消費者の視点に立った大変利便性の高いカードである。

また、企業側に立つと、今の時代はポイントサービスの提供だけでは商売にならない。ポイントシステムを活用して、過去から現在までの利用実績をONLINE(即時)で総合的に分析し、様々なマーケティング展開を実施することが重要である。サイモンズは、顧客ひとり一人を念頭に取りくむことが可能なONE TO ONEマ

マーケティングを提供している。

さらに、サイモンズは、企業のみならず国、地方公共団体、大学、NPO法人、ボランティア団体等との連携も進めており、ポイントの様々な利用を図っている。例えば、2007年総務省主催の「ポイントを活用した二地域居住促進の実証実験」に参加し、総務省からも高い評価を得ている。また、従来から取り組んでいる「有効期限が切れた失効ポイント」の社会・地域貢献団体やNPO法人への寄付活動が、徐々に理解・浸透されてきている。

株式会社サイモンズとの連携により「マナーキッズ・ポイントカード」の失効ポイントがマナーキッズプロジェクトに還元されることになる。

以上